

付加価値の高い商品開発 Developing High Added Value Products

奄美にはイタジイやリュウキュウマツなどの森林資源が豊富に存在しており、これらの資源を利活用した乾燥技術や加工技術等の推進を図り、付加価値の高い建築内装材や家具用材等の商品開発が行われています。また、鹿児島県や奄美大島地区林材協会などと連携し公共事業への積極的な活用、市場動向や耐久性・耐蟻性の調査研究を促進しています。

森林資源の公益的機能の維持増進を図るため、世界自然遺産登録を考慮し森林の機能に応じた天然林改良や更新伐等の森林整備を推進していくことで、近年拡大している松くい虫被害についても、被害拡大の抑制につながると考えています。



奄美の林野に多く見られるリュウキュウマツは、光沢があり木目も美しい。家具や木工品に利用されているほか、住宅や公共施設などへも利用の推進が図られています。

Forestry resources including chinquapin and Ryukyu pine abound in Amami, where efforts are underway to promote drying and processing techniques to utilize them and develop products such as high value-added interior architecture and furniture materials.



タケノコの活用
奄美市住用地区で収穫される
タイサンチクは6~10月に収穫され、煮物やキムチなどに活用されています。



自然栽培で、シタケづくり

駒打ち体験も人気

加工食品の開発や販路拡大を Developing Processed Goods to Expand Sales Outlets

本市の水産業は、周囲をサンゴ礁に囲まれ、近海には天然礁による好漁場が点在するなど、古くから生活と密接に結び付いた重要な産業です。多くは、漁船による一本釣り漁業・刺網漁業を営んでおり、採介藻漁業、養殖業、潜水器漁業なども営まれています。しかし、水産業を取り巻く環境は、水産資源の減少、魚価の低迷、漁業従事者の高齢化などにより、次代の産業としては大変厳しい現状にあります。

このため、漁業で安定した生活ができるように、水産基盤設備の整備や、加工品の開発、魚食普及、販路拡大等に対する取り組みに支援を行い、水産業の振興を図っています。



早朝の魚市場

Although in a precarious position as a next generation industry, fisheries are promoted by support for basic facilities and equipment, development of processed goods, the popularization of eating fish, and expansion of sales outlets.



新規開発された
フカジャーキー



漁協による水産加工品の販売所



モズクの収穫



カツオの水揚げ風景

海ブドウ